

夜景サミット 2017in タイに参加して

長崎市議会議員 向山 宗子

「日本の夜景の素晴らしさ、美しさ」を伝え、「多くの外国人の皆様に向けた観光コンテンツとして認知」をはかるべく、これまで多くの反響を呼んだ香港(2013)、台湾(2014)、ベトナム(2016)に引き続き開催された「夜景サミット 2017in タイ」に参加させて頂きました。

世界新三大夜景に認定された長崎の夜景観光の PR、タイにおいて旅行・観光に携わっておられる多くの皆様と交流を深めることができました。

初日である7月5日(水)は、夜景観光コンベンション・ビューロー主催のバンコク市内の夜景視察。夕食会場のスコータイバンコクはタイ国最初の独立王朝「スコータイ」をイメージして作られたホテルで趣のある中庭や池などがライトアップされていてタイの魅力溢れる所でした。その後、バスの車窓から見る旧国会議事堂(アナンタ・サマーコム宮殿)などのタイの夜景は幻想的で素晴らしいものでした。



2日目。7月6日(木)午前中は、ジェトロ・バンコク事務所にてタイの概況とアセアン経済について、担当者からお話を伺い、タイにおける観光客の動向、現状などを学びました。午後は、センタラグラッドアットセントラルワールドホテルにて夜景サミット 2017in タイに参加。夜景サミット第一部では、一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー代表理事の丸々もとお氏の開会挨拶のあと、タイ政府観光関係の方のビデオメッセージ、そして日本政府観光局、バンコク事務所所長・伊東和宏氏よりご挨拶があり、2016年にはタイからの訪日観光客は90万人、本年は1月から5月で47万人と増加傾向にあることが紹介されました。

夜景サミット第二部では、日本から参加した各都市や団体を代表して、加藤副市長が挨拶。続いて、今回の眼目である訪日観光旅行エージェントの担当者、タイ政府観光関係者、マスコミ関係者などに対し、長崎市、足利市、札幌市、伊豆ぐらんぱる公園、藤沢市そしてアパリゾート上越妙高の順で、夜景やイルミネーションについてタイ語によるプレゼンテーションが行われ、それぞれ自慢の夜景ポイントを PR しました。第二部の最後には、日本夜景応援大使任命式も行わ

れました。応援大使に任命された「びーむ先生」は日本をこよなく愛し、大好きな日本をもっと多くのタイ人に知ってもらいたいと、**youtube** で日本旅行やタイ語—日本語講座などを配信したりコスプレやアニメソングを通じて日本のサブカルチャーを発信するなど日本とタイを拠点にアイドル活動を行っている人です。日本の夜景の魅力を発信していきたいと抱負を語っていました。



日本夜景応援大使「びーむ先生」と



サミット会場からの夜景

夜景サミット第三部は現地エージェントと日本参加者による商談会。

夜景サミット第四部の意見交換会では、商談会に参加されたマスコミ・メディアの皆さんが多数参加して下さい、タイの皆さんの日本に対する関心の高さを感じました。

現地最終日 7月7日(金)はダムヌンサドゥアック水上マーケットやアユタヤ遺跡などタイの街の代表的な場所を視察後、夜スワンナプーム国際空港から帰国の途につきました。

タイは自動車全体の7割が日本製であり、東京を思わせる首都バンコクの主要道路沿いにはトヨタなど日本企業のビルが立ち並び、改めて親日国であることを肌で感じる事ができました。タイからの訪日観光客も増加傾向にある中、今回の夜景のPRや商談をひとつの足掛かりとして長崎への誘客を少しでも伸ばしていくよう努力していきたいと思えます。